



～多文化共生部活用の巻～

多文化共生施策にクレアをご活用ください！

— 多文化共生部の事業紹介 —

(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課

クレア多文化共生部では、地域における多文化共生を促進するため、外国人住民に対して多言語で情報提供を行うほか、各種ツールや事例集の提供、多文化共生関係研修の実施などを行っています。今回は、全国各地の現場で多文化共生施策を担われている方々に、さらにクレアを活用していただけるよう、多文化共生部の事業について紹介します。

「やさしい日本語」版追加！ — 多言語生活情報スマートフォンアプリ —

クレアでは、外国人住民が日本で生活するために必要な情報を「多言語生活情報」としてクレアホームページおよびスマートフォンアプリにより、無償で提供しています。この「多言語生活情報」の14番目の言語として「やさしい日本語」版を追加しましたので、ぜひご活用ください。



このホームページには、日本の生活に必要なことが書いてあります。いろいろなことばでも読むことができます。(上のことばをえらんでください)
やさしい日本語は、下からえらんでください。

- | | |
|------------|-----------------------|
| A 新しい在留制度 | J 日本の学校 |
| B 在留資格 | K 日本語のべんぎょう |
| C 結婚・離婚 | L 税金 |
| D いろいろな手続き | M 家を買う・かりる |
| E 仕事 | N 交通 |
| F 病気、けが | O 生活のきまり |
| G 年金 | P 緊急・災害 |
| H 赤ちゃん子ども | Q わからないことがあるとき (相談窓口) |
| I いろいろな福祉 | |

スマートフォンアプリの「やさしい日本語」版トップ画面

また、「多言語生活情報」アプリでは、日本国内で震度5弱以上の地震が発生したときに気象庁より配信される「緊急地震速報」を表示するため、災

害時の備えとしても有効です。アプリは、クレアホームページからダウンロードページに進むか、AppStoreやGooglePlayで「多言語生活情報」、「Japan Life Guide」と検索すれば、ダウンロードできます。

専門家を紹介して欲しい！ — 「地域国際化推進アドバイザー派遣制度」 —

多文化共生や国際協力分野で専門的な知識や経験を持つ有識者などを「地域国際化推進アドバイザー」として、多文化共生または国際協力推進のための研修会や講演会などを実施する自治体や地域国際化協会、市区町村の国際交流協会などに派遣しています。アドバイザーの派遣にかかる往復交通費・日当・謝礼金（ただし、謝礼金は3時間分まで）はクレアが負担しますので、自己負担が少ない形で多文化共生施策を実施できるチャンスがあります。ぜひご活用ください。

他地域の事例から学びたい！ — 「多文化共生事業事例集」があります —

クレア助成事業により実施された多文化共生関連施策の中から、ほかの団体の参考としていただく事例をまとめた「多文化共生事業事例集」があります。本事例集では、日本語学習や医療福祉、子ども・教育などの8分野104事例を掲載しており、さまざまな地域・団体にとって参考になる情報が掲載されています。毎年度更新していますので、ぜひ一度ご覧ください。

優良事例の担当者から実際の話が聞きたい！ — 事例報告会&ローカライズ研修会 —

事例集だけではなく、実務担当者の話を聞きたい方々向けに、「①多文化共生事業事例報告会」や「②多文化共生セミナー」、「③多文化共生事業ローカライズ研修会」などを開催しています。

①や②では、クリア助成事業や民間企業の取り組みの中から優良事例を選定し、その取り組み内容について、実務担当者から発表していただきます。②では、多文化共生施策の現場視察も行います。

③では、「聞く」、「見る」からさらに1歩踏み込み、「優良事例の良いところを自らの地域に応用すること」(＝ローカライズ)を目的とした研修を行います。優良事例の良いところをどのようにすれば、各地域で実践できるかなどについて、当該優良事例の担当者と一緒に考えることができるまたとない機会ですので、ぜひご参加ください。



ローカライズ研修で地元での実践を考える参加者のみなさま

他地域で作成したものを活用したい！ — 「多文化共生リソース」で公開中 —

クリア助成事業などにより作成された全国各地の多文化共生関係のツールや資料をまとめて公開しています。生活支援、医療、災害などの7分野44事例

クリア助成金を活用して作成された多文化共生リソース

クリアでは、地方自治体及び地域国際化協会が実施する多文化共生事業に助成金を交付しています。平成19年度から平成25年度まで行われた「多文化共生のまちづくり促進事業（旧・地域国際化施策支援特別対策事業）」の助成金を活用し、それぞれの自治体等で作成された多文化共生関係資料をまとめました。

分野	実施主体	資料の内容
医療・福祉	東京都府	外国人のための医療ガイドブック
	東海市	救急・医療あんしんカード
	(公財)福島県国際交流協会	講演録「放射線と私たちの健康セミナー」 (やさしい日本語、英語、中国語、韓国語)
	(財)新潟県国際交流協会	新潟県内の外国籍住民救急医療対応マニュアル
	(公財)かまがわ国際交流財団	NEW 多言語医療相談票 ※母子版はこちら
	(公財)滋賀県国際交流協会	日系ブラジル人母子サポートマニュアル
宮城県	(公財)山口県国際交流協会	NEW 外国人患者とのコミュニケーション支援ブック ～外国人の患者さんが集られたら～
		NEW 外国人ママのための避難・出産ガイド (英語、中国語、スペイン語、タガログ語、ロシア語)
愛知県		NEW ヘルプカード
		NEW 防犯チェックガイド(英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語)

多文化共生リソースを掲載しているクリアHP画面

例のツール・資料を掲載しており、全国各地ですぐに使えるものや地域で応用できるものなど、多様なツールがありますので、ぜひご覧ください。

NPO・NGOとの連携がしたい方！ — 「市民国際プラザ」にご相談ください —

クリアは、多文化共生などの分野での自治体・地域国際化協会とNPOなどとの連携・協働を支援するため、(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)と共同で市民国際プラザを運営しています。プラザは、NPOなどとの連携に向けたセミナーの開催や自治体・協会やNPOからの相談に対応し、より良い連携・協働活動の支援を行っていますので、気軽にご連絡ください。

外国人の考えを聞く！ — 「外国人コミュニティ全国会議」の開催 —

2015年度、クリアでは「外国人コミュニティ全国会議(仮称)」の開催を予定しており、全国の外国人コミュニティから代表者が集まり、コミュニティの紹介や日本人とのパネルディスカッションなどを行います。外国人住民支援に携わっている方々はもちろん、日頃外国人住民と関わる機会が少ない方々もぜひ、ご来場ください(詳細は後日クリアホームページなどでお知らせします)。

そのほかに活用できるものは？ — 助成金、災害時に使えるツールなども! —

クリアでは、このほかにも、多文化共生施策に対する助成事業(多文化共生のまちづくり促進事業)や、災害時の外国人住民への円滑な情報提供を支援する「災害時多言語情報作成ツール」の作成・公開なども行っています。ご不明な点は、ぜひクリア多文化共生部までお尋ねください。

クリア多文化共生部ホームページ・連絡先
<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/index.html>

TEL:03-5213-1725

E-mail:tabunka@clair.or.jp